

事業所名

みなとのこどもデイ（放課後等デイサービス）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		ゆっくり、いっしょに、育っていこう							
支援方針		少し先のライフステージを見据えながら「今」できることをご本人と保護者様と一緒に考えていきます。 保護者様と一緒にこどもたちの見える言動だけでなく背景にある理由を考えこどもの理解を深めることを大切にするとともに、こどもたち自身が自分を知り・理解し、自身と向き合っていく過程を共に歩めるよう、事業所内に留まらず日々の生活につながる支援をこころがけます。							
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり ☐ なし ☒
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	継続的に通所できるよう、安心できる居場所づくりを行います。 ライフスキルのアセスメントを行い、日常生活において「していること・できること・やりたいこと」を整理し、個々の状況に合わせて経験できるよう一緒に考えます。 自分自身の感覚特性を基盤に、季節や気候、TPDに合わせた身だしなみや体調管理を意識できる機会を設けます。							
	運動・感覚	感覚のアセスメントを行い、自身の感覚特性や得手/不得手について知る機会、理解していく機会を設けます。 将来的に自身が過ごしやすい環境・状況を選択できるために、自分自身の感覚情報の受け取り方が環境や時期によって変化し、それらが感情・状態につながっていることをスタッフと一緒に整理していきます。							
	認知・行動	一人ひとりの「やりたい」「頑張ってみたい」気持ちに寄り添い、自分たちの興味や得意に合わせて活動を考える時間を設けます。 自身の感覚特性に加え、興味関心や認知特性、感情処理の仕方、ストレスへの耐性など自身の内面について知り学ぶ機会を設け、自分自身への理解を深めます。またそれを基に、自身に合った対処法等をスタッフと一緒に考えて整理していきます。							
	言語コミュニケーション	同年代のこども同士で日常生活や学校生活の話題を通して、他者の考えや意見を見聞きする時間を設けます。 自分の話をする／他者の話を聞く場面を通して、感じていること・困っていることに対して自分だけではないことに気付く機会を設け、また新たな対処法や解決法を一緒に考える、相談する経験をしていきます。							
	人間関係社会性	こどもたちが自分自身の存在を認められるように、やりがいを感じることや自信を持つ機会を持てるように役割を担う活動を実施します。 運動やゲーム活動を通して、こども同士で協力したり、一緒に作戦を立てたりアドバイスをし合う力を育む機会を作っていきます。 将来的に他者との信頼関係を築くことをひとつの指針に、自他の違いや他者との心地よい距離感の取り方について学ぶ機会を設け、療育場面で実践していきます。							
家族支援		ご本人について理解を深めご家族と同じ方向を向いた関わりが意識できるよう、定期的に保護者様と面談を行いご本人の様子や言動の背景等について一緒に考えていきます／保護者向け講座等で情報をお伝えします				移行支援		ライフステージの移行を見据えて、現在の所属集団との情報共有・意見交換、また移行利用先との情報共有に努めます	
地域支援・地域連携		お子様についての理解を深められるよう、関係機関（所属集団や他事業所、医療機関等）との連携を図ります				職員の質の向上		・法定研修以外に、法人・事業所内の研修や外部研修への参加 ・日々の療育活動の振り返りを通して自己研鑽に務めます	
主な行事等		長期休暇の時期に、ライフスキルの経験としての外出活動（買い物学習や公共交通機関の利用、公共の場での振る舞い）、季節ごとのイベント（夏祭り・ハロウィン・クリスマスイベント等）を実施します。							